

令和2年度 嬉野市教育委員会 活動状況評価シート

教育委員会の活動状況		教育委員会における自己評価				
具体的活動		評価	項目	項目ごと実績・成果・評価	課題・問題点	改善点
具体的 施策	(1)教育長としての役割等について	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長部局で作成する教育大綱について、地域の実情に合った計画となるよう意見を述べる。</li> <li>・本市教育推進のため、教育政策等を立案し実践化する。</li> <li>・市長に対し、教育行政の課題等について情報提供を行う。</li> <li>・教育委員へ教育行政施策の積極的提言と周知の徹底を行う。</li> <li>・大野原小中学校の「通学・留学」制度の取り組みを長崎県の市町に広報する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回作成された「嬉野市教育大綱」に従って、本市の実情に合った教育計画を推進中である。</li> <li>・大野原小中学校の「通学・留学」制度のPRを行い、来年度から移住しての留学生を1名受け入れる予定である。</li> <li>・市長に対して、「学力の現状と教育課題」について随時情報を提供している。</li> <li>・教育委員へ教育情報の提供を積極的に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嬉野市教育大綱の見直しが必要かどうか総合教育会議で検討する必要がある。</li> <li>・大野原小中学校の留学については、移住についても支援していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育会議の実践化にむけ、市長部局との連携に取り組む。</li> <li>・大野原小中学校の留学については、関係部局との調整を図る。</li> </ul>
	(2)教育委員としての役割について	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育大綱作成について、教育委員としての立場で意見を述べる。</li> <li>・教育行政施策全般についての問題点や課題を指摘し、自己の考え方や意見・思いを述べると共に、教育行政全般についてチェックを行う。</li> <li>・社会教育委員と教育委員との懇談会を実施して、教育委員一人一人の考えを述べあい相互の理解を深め、地域の抱える課題の把握に努め、民意を反映した教育行政の一翼を担う。</li> <li>・研修会等を通じ、教育課題について把握し、委員としての専門性を習熟し、資質と能力の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回作成された「嬉野市教育大綱」に従って、教育委員としての立場で活動している。</li> <li>・定例教育委員会議等で、提案される施策について、教育委員個人の考えや思いを述べる事が出来ている。</li> <li>・社会教育委員との懇談会は感染症予防のため開催できなかった。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により教育委員研修会等は中止されるものが多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育会議の中で、教育委員として積極的に意見を述べる事が課題である。</li> <li>・総会や研修会等が中止されたため、教育課題の把握や専門的知識の習得が難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育会議の実践化にむけ、市長部局との連携に取り組む。</li> <li>・リモートでの参加ができないか検討していきたい。</li> </ul>
	(3)定例教育委員会会議の公開性の拡大と充実	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例教育委員会への傍聴を次のように拡大し、開催日をホームページで広報する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①市役所職員と新規採用職員への傍聴依頼</li> <li>②教職員(主幹・指導教諭)への傍聴依頼</li> <li>③社会教育委員へ傍聴依頼</li> <li>④PTA役員へ傍聴依頼</li> </ul> </li> <li>・教育委員会終了後に傍聴者から感想及び教育課題についての意見を求め、必要により意見交換をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の会議傍聴については、感染症予防のためすべて非公開とした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の会議は傍聴なしで行ったが、会議録のホームページ掲載は遅れている。できるだけ早く公開できるようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議録が迅速にできるように作成ツールなどを検討して迅速に公開できるようにしていきたい。</li> </ul>
	(4)教育委員への迅速な教育情報の提供や会議の招集	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員に学校教育・社会教育並びに教育総務に関する情報を年間を通して迅速に提供する。</li> <li>・教育委員会会議を定期的開催し、市役所以外の公共施設等で開催する。</li> <li>・オンライン(ICT)の活用を検討を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例教育委員会時に予算や補正予算の情報、議会での一般質問事項や、学校施設の改修状況など、国・県の動向を含めて説明を行った。また、社会教育分野においても事業計画を策定し、その都度情報の提供を行った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため臨時の教育委員会を開催し情報伝達を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例教育委員会は数回しか開催できなかったが、臨時教育委員会を随時開催することとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急案件については、持ち回りや電話等で事前承認を得るなど情報提供の迅速化に努めた。</li> <li>・リモートでの会議開催を市の情報部局に支援を得ながら検討したい。</li> </ul>
	(5)教育委員会と学校の協働意識高揚と課題の共有化	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育委員と教職員と語る会(トーク会)」で教職員との意見交換を実施し、教育現場の声を反映した教育行政の推進を図る。</li> <li>・「教育委員と教職員と語る会(トーク会)」のより一層の充実を図るため、教育委員も、トーク会のグループ(班)に参加し意見を述べる。</li> <li>・校長先生の知恵袋事業のプレゼンテーションへの参加や、成果発表会に出席し、学校の自主的経営について意見を述べる。</li> <li>・学校訪問時の「教育委員と教職員と語る会(トーク会)」で、市長部局の職員等の出席を求め、教育現場の声やトーク会出席者の意見を市の行政に反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の教育委員の学校訪問は感染症防止対策により開催できなかった。</li> <li>・校長先生の知恵袋事業のプレゼンテーションへの参加や、成果発表会に出席し、校長の特色ある学校経営について理解を深めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と教育委員が直接懇談して協議・調整を行うことができなかった。教育委員にいろいろな方法で学校現場の情報を伝える体制作りが必要である。</li> <li>・教育委員会でも、校長先生の知恵袋事業は特色ある事業であり、限られた予算の中で学校経営の特色と充実を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモートでの会議開催を市の情報部局に支援を得ながら検討したい。</li> <li>・議題によっては他の部署から協力を得られるように調整を図る。</li> <li>・今後も継続しながら更なる予算の獲得に努める。</li> </ul>

<p>評価委員からの指摘事項・意見</p> <p>①(1)について、大野原小中学校の「通学・留学」制度の取組は、地域住民の方の協力と綿密な計画や地道な広報活動等により、成果を上げている。ホームステイや寮などの整備が出来れば多くの生徒の受け入れも可能になると思います。</p> <p>②(2)について、総合教育会議や社会教育委員との懇談会のリモート会議も視野に入れ、教育委員が積極的に自らの意見を出しやすい議事進行を検討いただければと思います。また、県外の研修会等についてもリモート参加が可能かどうかの検討していただくようお願いします。</p> <p>③(3)について、定例教育委員会の傍聴については、コロナ禍でやむを得ず実施できなかったが、議事項目を公表するだけでも開かれた教育委員会となると思います。</p> <p>④(4)について、リモート、オンラインの会議等での活用について、至急研究をしていただきたいと思っています。</p> <p>⑤(5)について、教育委員会と学校が直接関わる機会は必要なので、リモート会議も含め実施方法の研究をしていただきたいと思っています。校長先生の知恵袋事業は特色あるものであり、今後の継続発展が望まれます。</p>	<p>評価結果(段階)</p> <p><b>B</b></p>	<p>指摘を受けての改善点</p> <p>①(1)について、地域住民の理解・協力は得られているので、市役所の移住・定住所管部局と連携して進めていきます。</p> <p>②(2)については、また、リモート研修も増えてきていますので、教育委員が自宅や市役所の会議室でリモート研修を受けることができるようにもしていきます。</p> <p>③(3)について、会議録作成支援ツールなどを活用して会議録の公表をスピードアップしていきます。</p> <p>④(4)について、市長部局で導入されるリモート会議システムやタブレット端末を使った会議ができるように構築していきます。</p> <p>⑤(5)についても④のシステムを活用していきます。校長先生の知恵袋事業はコロナ禍などその時の状況に応じて対応していきます。</p>	<p>評価4段階</p> <p>A 達成(80%以上)</p> <p>B ほぼ達成(51~79%)</p> <p>C やや不十分(50~21%)</p> <p>D 不十分(20%以下)</p>
--	---------------------------------	---	--